

第11回市町村対抗福島県ソフトボール大会 大会要項

1. 趣 旨 福島県内各市町村の郷土愛を醸成し、交流促進と地域活性化、生きがいのある健康な社会の構築並びにソフトボールの普及を図るとともに、東日本大震災からの一日も早い復興を祈念し開催する。
2. 主 催 市町村対抗福島県ソフトボール大会実行委員会、福島県ソフトボール協会
福島民報社
3. 共 催 相馬市、相馬市教育委員会
4. 主 管 相双ソフトボール協会、相馬市ソフトボール協会
5. 特別協賛 株式会社 IHI
6. 協 賛 ナガセケンコー株式会社、株式会社明治
7. 後 援 福島県、福島県市長会、福島県市議会議長会、福島県町村会、福島県町村議会議長会、公益財団法人福島県スポーツ協会、参加市町村、毎日新聞福島支局、スポーツニッポン新聞社福島支局、株式会社ラジオ福島、ふくしまFM、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島
8. 協 力 特定非営利活動法人オール相馬軍ソフトボール倶楽部
9. 会 期 令和6年10月5日（土）、6日（日）、12日（土）、13日（日）、19日（土）
※予備日 10月20日（日）、10月26日（土）
10. 競技会場 相馬光陽ソフトボール場（相馬市光陽四丁目地内）
11. 出場資格
 - （1）競技者は、令和6年7月1日現在、所属チームの市町村に住民票があり在住している者とする。令和6年7月2日以降の転入者は参加できない。また町村においては、他自治体に居住し通勤している町村役場職員と小・中学校の教職員、自治体内に勤務する常備消防署員の参加を認める。
 - （2）他県及び他市に住民票を置いたまま県内市町村に立地している企業等に従事している選手については、立地している市町村から5名以内に限り参加できる。
 - （3）「ふるさと選手」は他市町村、他県在住者であっても、出身小学校または中学校のある各市町村から5名以内に限り参加できる。
 - （4）東日本大震災等の被害甚大な市町村については、特別措置(別記)を講じる。
 - （5）競技者は18歳以上の者とし、高校生以下の出場は認めない。
12. チーム編成
 - （1）各市町村1チームとする。

- (2) 各市町村長が推薦した選手（女性も可）による選抜チームとする。
- (3) 県ソフトボール協会登録チームが単独で出場することは認めない。
ただし、他チームの選手を10名以上加えた選抜チームであれば参加は認める。
- (4) チームの編成は監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、マネージャー1名、代表者1名（市町村担当者等）、選手25名以内とする。ただし、監督、コーチ、スコアラー及びマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手登録をすること。
- (5) 東日本大震災等の被害甚大な市町村及びチーム編成がやむを得ない事情により困難な状況にある町村については、特別措置（別記）を講じる。

13. 申込方法 出場希望チームは、別紙関係用紙に必要事項を明記の上、**6月28日（金）**まで必着するよう、下記宛に申込みこと。

＜申込先＞ 〒976-8601 相馬市中村字北町63番地の3
相馬市教育委員会内 市町村対抗福島県ソフトボール大会事務局宛
(TEL0244-37-2278・FAX0244-37-2617)

14. 選手登録名簿提出期間

大会事務局より参加市町村へ選手登録用紙を送付する。**提出期限は8月30日（金）**までとし、提出先は上記（13.）大会事務局とする。

15. 参加料 各チーム**20,000円**（連合チームも同じ）

※組合せ抽選会後に参加市町村チームへ請求し、**9月27日（金）**までに事務局指定の口座へ振り込むこと。

16. 競技規則 (1) 2024年度（公財）日本ソフトボール協会オフィシャルルールソフトボールルールによる。
(2) 組み合わせは、抽選によって決定する。ただし、前回ベスト8のチームはシードとする。
(3) 降雨で試合が中止になった場合は、順延とする。

17. 使用球 公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製3号とし、本大会は主催者が用意するナガセケンコー(株)製球を使用する。

18. 試合方法 トーナメント方式とし、7回戦で行い90分の時間制とする。
90分を超えたら新しいイニングに入らない。制限時間内で7回終了時同点の場合は8回よりタイブレークにて試合を継続するが、制限時間がきても勝敗が決しない場合は抽選により勝敗を決する。

19. 代理抽選会

＜日時＞ 7月11日（木）15時00～

＜会場＞ 福島民報社

＜抽選方法＞ 市町村対抗福島県ソフトボール大会実行委員会及び福島県ソフトボール協会による代理抽選

※第10回大会の結果によりシードを決定。

20. 開 会 式 大会初日一試合目の各球場のチームと昨年度優勝チームの9チームによる開会セレモニーとする。
21. 表 彰 式 優勝、準優勝及び入賞した3位の各チームは、決勝戦終了後に表彰する。
22. 表 彰 (1) 優勝チームには優勝旗、優勝杯、県知事杯を授与（持ち回り）する。
(2) 準優勝チームには、トロフィー、準優勝盾を授与する。
(3) 3位チームには、トロフィー、第3位盾を授与する。
(4) 個人賞として最優秀選手賞、優秀選手賞、優秀女子選手賞、敢闘賞を各1名、打撃や投手部門の個人賞を各1名表彰する。
23. そ の 他 (1) 組合せ決定後の出場辞退は原則として認めない。やむを得ない事情で辞退する時は、必ず大会事務局に速やかに連絡すること。
(2) 大会出場メンバーは、大会当日の選手の追加、変更は原則認めない。
(3) 各チーム、第1試合は試合予定時刻の30分前まで、第2試合以降は前の試合の4回終了時まで、大会主催者が用意する公益財団法人日本ソフトボール協会公認の打順表（5枚1組）に必要事項を記入し、必ず「ふりがな」をつけて当該大会本部に提出すること。なお、女子選手については打順表の通し番号に○を付けること。
(4) ベンチは、組合せ番号の若い方を一塁側とする。
(5) 3回15点以上、4回10点以上、5回以降7点以上の差が生じたときは得点差によるコールドゲームを採用する。
(6) 一時停止試合（サスペンデッドゲーム）を採用する。
(7) 打者・打者走者・走者・次打者は、同色のヘルメットを着用しなければならない。（一・三塁のベースコーチも着用することが望ましい。）
なお、公益財団法人日本ソフトボール協会検定のソフトボール用ヘルメットを揃えることができないチームにあっては、軟式野球用のヘルメットの使用を認めるが、ヘルメットが原因で発生した傷害等については、一切の責任を負わない。
(8) 捕手は、スロートガード付きマスク・捕手用ヘルメット・ボディプロテクター・膝当て付きレガース（両足）を着用しなければならない。
※練習投球のときは、競技場のいかなる場所で投球するときもマスクを用意しなければならない。
(9) 金属スパイクの着用は認めない。なお、スパイクは不揃いでもよい。
(10) ユニフォームは基本的に同色、同形、同意匠であるが選抜チームで不揃いの場合は、背番号「1～99」を統一する。
監督は「30」、コーチは「31」「32」、主将は「10」番とする。
(11) フィールディングの際のノッカーは、危険防止のため1名とすること。
(12) 試合中における競技場内での投球練習等は、危険防止のため1組とすること。
※外野フェンス寄りのファール地域で行い、投手が外野の方に向かって投げるようにすること。
(13) 選手の試合中の傷害については、主催者は応急手当及び救急車の手配以外は一切の責任を負わない。

※選手は、全員スポーツ傷害保険に加入することが望ましい。なお、保険証を持参すること。

- (14) ベンチ内への携帯電話、マイク等の持ち込みを禁止する。メガホンは、1個に限り認める。ただし、使用できるのは監督に限る。
- (15) 試合開始時刻になっても連絡もせずに会場に来ないチームは、原則として棄権とする。
- (16) 雨天時であっても、競技場が使用可能な場合は試合を行うので、大会事務局より中止の連絡がない限り競技場に集合すること。
- (17) 女子選手及び59歳以上の選手が投手の場合、投球距離（13.11m）とする。
なお、固定プレートは設置しない。
- (18) 審判員の判定に対する不服の言動や不満の態度のほか、相手チームに対する暴言などの行為があった場合には厳正なる処分をする。
- (19) 監督代行及び主将代行については、メンバー表交換の際に審判に申し出ること。
- (20) 原則、出場選手は試合前に整列すること。
ただし、やむを得ず整列できない場合でも、試合への出場を認める。
- (21) 補助員は、第1試合は、実行委員会に対応し、第2試合以降は前試合の勝者のチームから4名を選出すること。
準々決勝は前試合の敗者のチームから4名を選出すること。
準決勝は実行委員会に対応する。
決勝は準決勝の敗者のチームから2名ずつ選出すること。
(別紙組合せ表を参照)
- (22) 雷がかすかにでも聞こえたら、直ちに試合を中断し、雷活動がやんで20分以上経過して試合を再開する。
(主催者・競技委員長・審判委員長にて判断する)
- (23) 動画撮影の場合、バックネット裏での撮影、センターの中心5m以内（左右・後）での撮影は禁止。
※各市町村のPR動画等撮影する場合、届け出を行い、実行委員会の上で、試合進行の妨げにならないよう注意し撮影できることとする。
- (24) 以上、記載されていない事項については、主催者で協議のうえ、大会運営に支障のないよう配慮する。

当日の緊急連絡先

相馬市生涯学習課 事務局 竹岡 博之

TEL 090-5834-4384

相双ソフトボール協会 事務局長 菅野 正浩

TEL 090-4062-8806

○最寄り医療機関

・公立相馬総合病院

〒976-0011

相馬市新沼字坪ヶ迫142

電話 0244-36-5101

・相馬中央病院

〒976-0016

相馬市沖ノ内3丁目5-18

電話 0244-36-6611

・渡辺病院

〒979-2611

相馬郡新地町駒ヶ嶺字原92

電話 0244-63-2100